

日本文化研究(演劇)Ⅰ

科目ナンバリング ARL-201
選択 2単位

細田 明宏

1. 授業の概要(ねらい)

近世演劇の一つである人形浄瑠璃(文楽)について学びます。人形浄瑠璃はおよそ400年前に成立し、近世期を通じて発展し、近代以降も多くの人々に親しまれています。この講義では、はじめに人形浄瑠璃の概要について講義した上で、歴史について学びます。さらに実際に文楽で上演された舞台を映像で見ることで人形浄瑠璃についての理解を深めます。歌舞伎の上演も参照することがあります。

2. 授業の到達目標

近世演劇の一つである人形浄瑠璃について理解を深めること、そしてその特色を他人に説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(60%)、小テスト・レポート(20%)、平常点(20%)を合わせて評価します。なお期末試験に代えてレポートを課す場合もあります。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

事前に授業内容の概要を配布(PDFファイル)するので、それを読んでおくこと。なおその概要は、プリントアウトまたは要点をノートに書くなどして授業に臨んでください。

6. その他履修上の注意事項

浄瑠璃について、テレビ番組やインターネット上の動画など手軽に触れられるものも多いので、できるだけ触れてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 浄瑠璃とは
- 【第2回】 浄瑠璃:語りと三味線
- 【第3回】 人形操り:三人遣い
- 【第4回】 平曲
- 【第5回】 浄瑠璃物語
- 【第6回】 呪具としての人形
- 【第7回】 くぐつ
- 【第8回】 人形浄瑠璃の成立～古浄瑠璃
- 【第9回】 竹本義太夫
- 【第10回】 近松門左衛門
- 【第11回】 情の表現～三人遣いの成立
- 【第12回】 歌舞伎への影響
- 【第13回】 娘義太夫
- 【第14回】 女性による人形浄瑠璃
- 【第15回】 まとめ(期末試験)